



■発行元■

南国市大桶甲 1479-3
医療法人つくし会 南国病院
TEL 088-864-3137
<http://www.nankoku-hp.or.jp>



南国病院での勤務にあたって

神経内科部長 吉村公比古

今まで20年ほど、救急病院でしか勤務したことなく、最近も近森病院、いずみの病院、高知医療センターなど神経内科医としても急性期疾患主体に見てきました。医者も20年を超えると体力的な限界を感じるようになり、今回高橋先生が南国病院を辞められると聞いてから、いずみの病院で、神経内科医一人でやっていくことに限界を感じていましたので、転職を考えていたところでもありました。また、神経難病の慢性期も一度経験をしておきたい希望もあり、タイミングが合ったというのが実情です。

勤務してまだ一か月弱ではありますが、気づいた点や今後の抱負的な事を書かせてもらいます。

- 1) 経管栄養が意外と多いこと、順次胃瘻への変更をしていくこと（特に熱を頻回に出している患者さんや摂食機能が落ちて、経口と併用して栄養補給を考える患者さんなどから）
- 2) 以前あったという一般病棟（15床程度）の復活、やはり診断の難しい神経疾患は診断と教育目的での1～2週間の入院が必要、最近は特殊な治療法の選択肢も増えてきて、ステロイドパルスやグロブリン治療、インターフェロン導入の教育入院などが必要（患者自体少ないが）、またパーキンソン病（関連疾患）、多形統委縮症の患者さんなども1か月程度のリハビリ入院で、落ちていたADLを上げるだけで改善する患者さんも多いため、そこそこの需要はあると思われるが（難しいか、また忙しくなるのも大変かも）？
- 3) 個人的には訪問（往診）などにも興味はあるので、来年度から可能ならしていきたいこと。
- 4) リハビリスタッフの増員、もう少しいてもよさそうだが？

高知県ではパーキンソン病などの神経変性疾患は、どんどん増えてくる一方だと思われます。高橋先生が来てから、神経難病の専門病院として、ある程度の形を築いてきた病院ですので、今後は市内に近森病院しか急性期の神経疾患を診れる病院がなくなってしまいましたので、うまく連携しながらやっていくことも重要と考えています。



南国病院納涼祭



みなさん『夏祭り』や『納涼祭』と聞いて真っ先に何を思い浮かべますか？
私はなんと言ってもイカ焼きのあの匂いです。あの焦げたタレの匂いを嗅ぐと夏の訪れを感じずにはいられません。そんなイカ好きの私が昨年に引き続き納涼祭の報告をさせていただきます。

まず、長瀨ふとしは呼ばませんでした。

しかし今年の納涼祭は例年以上に充実したものにしようと約2ヶ月前より院長を執行委員長とする準備チームを発足させ、企画・運営にあたってきました。

この場で各部署の代表者が遠慮なく様々な意見やアイデアを出し合い、それぞれが各部署に持ち帰り報告・検討するという作業を繰り返した結果、大きなトラブルや事故も無く病院全体としてチームワーク良く取り組み、盛況のうちに納涼祭を終える事ができたのではないかと思います。

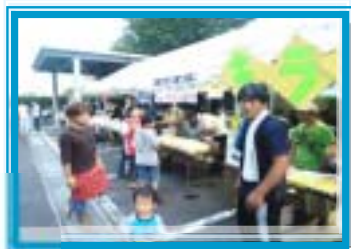
また今年はコーギー南国さん、サニーマートさん、風車の丘あけぼのさん、土佐リハビリテーションカレッジさんの出店やご協力もあり、納涼祭を大いに盛り上げてくれました。

今後こういった各施設・企業と相互の交流をさらに深めて行ければと考えています。

納涼祭後の反省会では、今回の目標の一つであった、地域住民の参加数が少ない事に対し多くの意見が寄せられました。この事は『地域の医療と福祉に貢献する』という当院の理念から考えても今後重要な課題であると思います。来年実行委員をされる方に今回私達が得た反省や改善点をしっかりと伝えて行きたいと思っています。

また来年も良い納涼祭になる様に期待しています。皆さんお疲れ様でした。

平成22年度納涼祭責任者 中田 浩



高知県看護協会主催『ふれあい看護体験』

9:00~16:00

【午前】

オリエンテーション
写真撮影
院内見学
2病棟・3病棟で看護体験

【午後】

精神科作業療法体験
(料理)
意見交換



土佐塾高校	2年生	1名
高知県立高知東高校	2年生	2名
// 山田高校	3年生	1名
// 岡豊高校	3年生	2名
// 城山高校	2年生	1名
// //	3年生	1名
計8名(男子2名 女子6名)		

平成22年
8月4日
(水)



ふれあい看護体験

高知県立高知東高等学校 2年 松村香澄

初めてふれあい看護体験に申し込んだので、どんなことをするんだろう、何をしたりするんだろうと、最初は不安が多かったです。

しかし実際に参加してみると、“勉強になることや、技術の面では学校では習ったことと違う方法を用いて実施しているものがあり見学できて良かった”と思うことがたくさんありました。

食事介助や、手浴・足浴などを実際の医療の現場で見ることができ、とても参考になりました。

午後は、精神科の患者さんたちと手打ちうどんを作り、今まで精神病患者の方に持っていたイメージとは異なり、みなさんがとてもフレンドリーなことに驚きました。

今回のこの経験を通して学んだことがたくさんあるので、今後の自分の進路の参考にしていきたいと思えます。

お忙しい中、一日体験をさせていただき、ありがとうございました。

将来の進路を決める中での「ふれあい看護体験」ですから、「将来は、看護師さんになりたい!」と思ってもらえるよう、それぞれの担当看護師達が笑顔で明るく元気に看護師の仕事、やりがい等をアピールしてくれました。

2病棟・3病棟では、患者さんとのコミュニケーションのとり方、シーツ交換、食事の介助等を体験し、精神科作業療法では、患者さん・看護師達と初めての手打ちうどん作りに挑戦し、それぞれ姿・形・味の違った手打ちうどんが完成。みんなで楽しい試食会でした。

意見交換時、

「看護師になろうと決心した。」

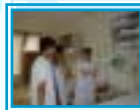
「患者さんに対してコミュニケーションをとることが大事だと思った。」

「看護師と患者さんの信頼関係が大切だと思った。」

「南国病院のような明るく、元気なナースになりたい。」

等、嬉しい言葉をたくさん聞かせてもらうことができ、私達スタッフの方が改めて看護の仕事を考えるよい機会となり、参加して下さった学生さん達に感謝しています。

看護部長 佐光 真由美



スピリットアート 高知県立美術館

平成22年
10月8日~17日
(金~日)



山田のかかしコンテスト

平成22年
10月16日・17日
(土・日)



患者さんの
出品作品



「医療ガス講習会」に参加して 院内学術研修会

平成22年
9月28日
(火)

9月28日(火) 当院5階多目的ホールにて全職員対象の研修会が行われました。今回は「医療ガス」について四国アセチレン工業(株)の櫛田正利氏の講演でした。勤務後の時間でしたが、51名の参加がありました。また、普段「医療ガス：酸素」に接しない方も参加されていました。少し難しかったという意見もありましたが、近い将来、起こるといわれている、大地震に備えての内容もあり、今から準備しておかなければいけないこと、知識だけではなく、訓練し身につけておいたほうがよいこと等が解りとても勉強になりました。酸素ポンベの使い方では、スタッフの実演を交え、視覚から理解することができ、気をつけるポイントも再認識できました。

防火・避難訓練と同じように、「医療ガス」の訓練(災害時や事故時の)も必要だと痛感しました。



平成22年度 消火・避難訓練

平成22年
10月19日
(火)

平成22年10月19日(火)に南国消防署より2名の職員を派遣していただき、平成22年度第1回目の消火、避難訓練を行いました。夜間の火災を想定した初めての訓練でしたが、少ない人員での対応は非常に困難であることを職員一同痛感しました。職員を患者さんに見立てて行ったので、それなりの避難はできましたが、夜間実際に患者さんを避難させることは不可能に近いことを再認識しました。守衛担当者の消防への通報、全館放送についても、さらなる訓練が必要であることを認識しました。消火訓練は水消火器を使って行いましたが、指導どおりに出来ない職員もあり、全員がスムーズに使えるようになることが課題として残りました。実地訓練終了後、消防署の担当者より消火器の粉末の飛距離とか噴射時間等消火器に関する事、また実際火災が発生した時は大声を出す、慌てて行動しない等を教えていただきました。実際夜間の火災となると人員も少ないので、慌ててしまい、思うように行動がとれなくなると思われるので、常日頃から、消火器・消火栓の配置場所・使用方法、避難方法等を各自が熟知しておき、もしもの時に落ち着いた行動が取れるようにしておくことが大事だと思います。



病院の理念

1. 安全で質の高い医療によって地域に貢献します。
2. 信頼関係に基づき暖かい医療を提供します。
3. 専門性を追求し自己研鑽に努めます。

基本方針

1. 病院が地域の社会資源であるとの認識に立ち、本院の専門性を通して、地域の医療と福祉に貢献します。
2. 本院は、脳と神経及び精神の疾病や障害を主な診療対象として、その神経学的、精神医学的診断、治療と臨床的研究に努めます。
3. 個々の患者とその家族への十分な説明とそれに基づく納得の上での同意を前提として診療を行います。
4. 本院での医療行為は、科学的根拠に基づき、自由で暖かい生命倫理に立って行います。医療環境が常に清潔で、明るく保たれる様努力します。
5. 本院の職員は、常に自己の資質と医療技術の向上に努め、病める人たちへの奉仕者としての自覚を持ちます。

平成22年4月1日改訂

当院は患者さんの信頼に基づく適切な医療を行うために患者さんの基本的な権利を尊重します。

患者さんの権利

1. 患者さんが適切な医療を平等に受ける権利
患者さんは差別されることなく平等に、当院で達成可能な医療を受ける権利があります。
2. 患者さんの人格、価値観が常に尊重される権利
患者さんはひとり人間として、その人格、価値観などが尊重されます。
3. 患者さんが医師等から十分な説明を受け、自らの意志で医療行為を選択・決定する権利
患者さんは、医療の内容、治療・検査などの効果・危険性、他の治療法などについて説明を受け、医療の内容を十分理解し、同意した上で、適切な医療を選択し、受ける権利があります。同意できない場合は、医療を受けることを拒否することもできます。
4. 患者さんがご自身の診療に関する情報の提供を受ける権利
患者さんは、当院で行われたご自身の診療に関する情報の提供を受ける権利があります。
5. 患者さんの個人情報、プライバシーが保障される権利
患者さんは、病院内での生活を、可能な限り、他人に侵害されない権利があります。また、医療の過程で得られた個人情報は、個人の秘密として厳守され、患者さんの承諾なしには開示されない権利があります。

患者さんへのお願い

患者さんには、私たちが、安全かつ適切な医療の提供を行うために、次のことをお願いいたします。

1. ご自身の体調に関する情報を正しくお伝え下さい。
2. 医療に関するご希望を率直にお伝え下さい。
3. 検査や治療などの医療行為は十分なご理解と合意の上でお受け下さい。
4. 療養上必要な制約を受けることをご理解下さい。
5. 他の患者さんの治療や職員の業務に支障をきたさないようご協力下さい。

診療のご案内

診療科目	神経内科 精神科 消化器内科 内科 リハビリテーション科 放射線科
診療時間	月～金 午前 8:30～12:30 午後 1:30～5:00 土 午前 8:30～12:30
休日診療	なし 但し急患は診療いたします
面会時間	午前 9:00 ～ 午後 9:00
予約診療	全ての診療科において予約診療を行っております
救急指定	なし
健康診断・人間ドック	あり 脳神経検診、消化器検診

		月	火	水	木	金	土
午前	神経内科	1 診	吉村	院長	吉村	齋藤	院長
	精神科	2 診	玉元	森田	玉元	玉元	木原
	消化器内科 内科	3 診	川村	川村	川村	川村	川村 ※1
午後	精神科	2 診	森田	玉元	木原	木原	森田
	消化器内科 内科	3 診	川村 ※2				川村 ※2

※1. 川村医師の土曜日の診察は第2, 第4土曜日のみです。

※2. 診察時間は15:00～17:00までです。

平成22年9月

外来患者数	2,034 名
(内 新 患 数)	74 名
1日平均入院患者数	152 名
精神科デイケア利用者総数	386 名
通所リハビリテーション利用者総数	298 名
訪問看護ステーションおおそね訪問件数	135 件



■認定・指定

日本神経学会教育関連施設
日本静脈経腸栄養学会
NST 稼動施設
高知県神経難病医療
ネットワーク基幹協力病院

■病床数

病床数 162 床
特殊疾患病棟 (I) 46 床
医療療養病棟 56 床
精神療養病棟 60 床

